

三条別院のご案内

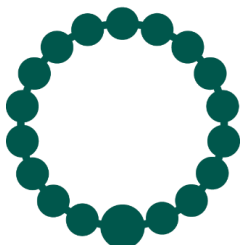
MONTHLY NEWSLETTER FROM
SANJO-BETSUIN 2026. 6

Tel 0256-33-0007 E-mail sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp HP <https://sanjobetsuin.or.jp>

三条別院に想う

宮田 素樹 氏

(「欲聞座」同人・名古屋教区教化センター事務長)



左から宮田氏、法話講師貝沼氏、藤原座長

三条別院といえば、先ごろ文庫として復刊された『法城を護る人々』の中に出る。この小説の最初の出版は1917年。物語の始まりのほうに三条別院と思しき大きな屋根が、あまりよくない印象として語られる。百年ほど前の、寺を取り巻く様々に尽きず疑問を懐く主人公の、懊悩の物語である。自分も寺に生まれ、名古屋別院に勤め、宗門に少しく関わる身、様々に考えさせられる。その小説の後半に、これもあまりいい印象とはいえないが、曾我量深師がモデルといわれる人物が登場する。



曾我師は新潟に生まれられた、本願念仏の道を歩む、聞法の一生を送られた先人である。2020年が五十回忌で、それを機縁として聞法の有志で、その因縁の地に身を運んで聞法の交わりを結んでいる。昨年は、やはり新潟に生まれられた金子大榮師の五十回忌ということで、三条別院を会場にお借りし、両師を憶念する聞法会「両眼人法会」を開いた。この有志の会は「欲聞座」という。主に愛知県で聞法の機会を持つ者の集まりで、今年も三条別院の甚深のご協力を賜り「両眼人法会」を開いた。

雨もよいの肌寒い一日となった5月22日、三条別院の旧御堂で、法要の後、「欲聞座」座長の藤原猶真師（愛知県一宮市 西恩寺住職）が挨拶、貝沼宜徳師（名古屋市 興西寺住職）が法話を行った。そして、参加者全員による座談会「礼讃 南無の大地」が行われた。法話では、我らが賜った念仏の歴史、その具体的な形としての聞法、「豊かな生活」の大事さ、容易なさが語られた。座談会でも真摯なる言葉が交わされ、大事なる聞法会、有り難い法会となった。

小説『法城を護る人々』では主人公の複雑な感情をもって新潟が描かれる。曾我師もその故郷の地について書いている。土地に染み付いているが如きものを感じ、自らのどうしてみようもない執心に苦悩する。自分もこの地を訪れ、やはり越後は違う、と思えてくる。新潟に限らず、土地の力のようなものがある、と思いたいのかもしれない。しかし、その固着は、苦悩、疑惑、煩悶を誘う。そのような現実に関法生活が開かれるとはどういうことか。人の世のどうしようもなさをも包む、豊かな生活とは何か。果してそれは、人と人との交わりのほかにないのかもしれない。

○次回の「三条別院に想う」は、

八島 崇成 氏（高田12組徳生寺 高田別院列座）よりご執筆いただきます。

【今月のトピック記事】
三条別院公開講座を緊急開催

御正忌団参アンケート募集中！
▼(2面)



アンケートリンク

6月7月 ピックアップ

基本どなたでもお参りいただけます。
詳しくはホームページ及び案内チラシをご覧ください。
行事報告は基本はホームページで別院だよりでは不定期で行います。

▼定例法話

池田 陽 氏 (第18組長周寺)

※講師〔佐々木紀氏 (第23組安楽寺)〕のご都合のため変更

6月13日(土) 13時30分から15時

毎月13日闍如上人のご命日にあわせて定例法話会を開催しております。
いずれも13時30分から14時30分、その後30分ほど座談会

▼三条別院公開講座(緊急開催)

『鈴木大拙—世界の禅を生んだ男』を5月9日に出版したばかりの近代仏教学研究から、鈴木大拙の現代性についての講演会を緊急開催!

碧海 寿広 氏 (武蔵野大学教授)

6月14日(日) 14時00分から16時30分(講義・質疑応答) 入場無料

講題「『悟り』と現代: 鈴木大拙に学ぶ」

◆講師プロフィール

武蔵野大学教授。1981年東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒、同大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。博士(社会学)。龍谷大学アジア仏教文化研究センター博士研究員などを経て現職。著書に『鈴木大拙』(ちくま新書)、『科学化する仏教』(角川選書)、『考える親鸞』(新潮選書)等。

▼御命日のつどい

倉井 光弥 氏 (中越11組養泉寺)

6月28日(日) 10時から12時 御文三帖目第二通「如説修行・成仏」

本堂にて日中法要、その後旧御堂で法話・座談会の場を開いております。
なお前日(27日)はお逮夜法要を13時30分よりお勤めしております。

◆会場 三条別院 本堂・旧御堂

◆お勤め(御命日 日中法要)

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回り口 次第六首

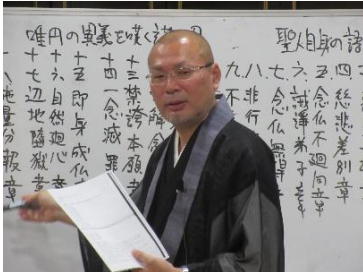
回向 願以此功德

◆今後の講師一覧

7月 大久保 州 氏 (佐渡組廣永寺)

▼御正忌団体参拝の意見募集中!

参加者数の減少・燃料費等の高騰により本年の御正忌団参は中止が決定しておりますが、来年の11月21日から28日の本山御正忌報恩講の別院団体参拝の日程等見直しに向けて、アンケートを実施しております。どなたでもご回答いただけます(無記名可)。ご関心のある方は左記QRコードよりご回答いただけます。





その他の講座案内&随時募集中

○別院声明教室

夜の部 (18時~20時) 昼の部 (15時~17時)

昼の部講師 別院列座 夜の部講師 倉井 光弥氏 (中越 11 組養泉寺)

2月20日(金) [済]・3月23日(月) [済]・4月17日(金) [済]・

6月1日(月)・6月29日(月) (全5回)

昼の部は赤本 (正信偈草四句目下念讚淘三)、日常法務、夜の部は正像末和讚の繰読みです。日程は同朋会館のチラシをご覧ください。

○別院書道教室 (東友会)

【毎月第2、第4水曜日 18時30分~20時】

講師 木原 光威氏 (新潟県書道協会理事) 月謝 3,500円 (テキスト代含)

○有志の会庭講 [毎月13日]

ご一緒に別院のお庭を整備しませんか? 毎月13日10時から、午後は定例法話を聴聞します。1月と8月は休会です。

【活動報告】今月は春の奉仕研修に合わせての活動となりました。草刈り班と庭掃除班に別れ、草刈りは主に駐車場回りを、庭掃除は池周りの落ち葉を掃いたり、池の泥上げを行いました。

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○別院奉仕研修について

【奉仕研修冥加金】

1人あたり半日 (午前または午後) 500円、1日 1,000円

1泊2日は上記の冥加金に順じて半日 500円で計算する。

【その他実費でいただくもの】

①講師謝礼 列座によるお内仏のお給仕・法話は研修冥加金に含まれる。

②シーツ等クリーニング代 1,000円 ③食事代 ご要望等ご相談承ります。

○団体参拝及び諸殿拝観について

列座が諸殿拝観などを行います。日程等お気軽にご相談ください。

○フードバンクを継続募集中

—5月の別院フードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒—

佐渡組門徒

その他、匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は6月24日(水)です。

◎第19組改観寺雑巾講 (報告)

5月11日(月)、第19組改観寺雑巾講にお邪魔してきました。約20名の門徒さんと雑巾を縫い、二胡奏者によるコンサートとご住職による歌の披露、最後は讃岐直送のうどんを頂きました。今回縫った雑巾はお取り越しに向けたおみがきや別院の清掃に有難く使わせていただきます。



【二胡コンサートの様子】



【衝撃の讃岐うどん】

編集後記

皆さんは本場の讃岐うどんを食べたことがあるだろうか。我が家は子ども達がうどん大好きなので、近所のうどんチェーン店によく行く。私はそれが本場の讃岐うどんだと思っていた。しかし、先日伺った雑巾講で振舞われたうどんに私は衝撃を受けた。強烈なコシと喉越し、風味豊かな出汁、味変の溶き卵や梅干し。今まで讃岐うどんだと思って食べていたのはいったい何だったのか。そして気づけば、5人前くらいを平らげていた。皆さんの中でもし本場の讃岐うどんを賞味したいという方がいたら、共に雑巾講に参加しましょう。しかしいくら美味いからと言って調子に乗って食べ過ぎたようである。うどんは当分の間控えようと思います。(小原)